

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2015-41980(P2015-41980A)
 【公開日】平成27年3月2日(2015.3.2)
 【年通号数】公開・登録公報2015-014
 【出願番号】特願2013-173649(P2013-173649)
 【国際特許分類】

H 0 1 P 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 6/42 (2006.01)

H 0 1 P 5/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 P 1/04

G 0 2 B 6/42

H 0 1 P 5/08 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

差動信号の一方が入力される第 1 端子および前記差動信号の他方が入力される第 2 端子と、

前記第 1 端子に接続され、前記差動信号の一方を伝送し、基板の主面に設けられた第 1 信号線路、および前記主面と対向した前記基板の反対面に第 1 接地パターンを備えるマイクロストリップ線路と、

前記第 2 端子に接続され、前記差動信号の他方を伝送し、前記基板の主面に設けられ、前記第 1 信号線路と長さが異なる第 2 信号線路、および前記第 2 信号線路の両側に設けられ、前記第 1 接地パターンと貫通孔を介して接続されてなる第 2 接地パターンを備える第 1 コプレーナ線路と、を備え、

前記マイクロストリップ線路の特性インピーダンスと前記第 1 コプレーナ線路の特性インピーダンスとは同じである信号伝送路。

【請求項 2】

前記差動信号とは別の差動信号の一方が入力される第 3 端子および前記別の差動信号の他方が入力される第 4 端子と、

前記第 3 端子に接続され、前記別の差動信号の一方を伝送し、前記基板の主面に設けられ、前記第 1 信号線路および前記第 2 信号線路と長さが異なる第 3 信号線路、および前記第 3 信号線路の両側に設けられ、前記第 1 接地パターンと貫通孔を介して接続されてなる第 3 接地パターンを備える第 2 コプレーナ線路と、

前記第 4 端子に接続され、前記別の差動信号の他方を伝送し、前記基板の主面に設けられ、前記第 1 信号線路および前記第 2 信号線路と長さが異なる第 4 信号線路、および前記第 4 信号線路の両側に設けられ、前記第 1 接地パターンと貫通孔を介して接続されてなる第 4 接地パターンを備える第 3 コプレーナ線路と、

前記第 2 コプレーナ線路と前記第 3 コプレーナ線路の少なくとも一方に設けられ、前記第 3 接地パターンまたは前記第 4 接地パターンと接続され、前記第 3 信号線路または前記

第 4 信号線路を覆うように設けられてなる接地パターンを備える調整基板と、をさらに備え、

前記マイクロストリップ線路の特性インピーダンスと前記第 1 から第 3 コプレーナ線路の特性インピーダンスとは同じである請求項 1 に記載の信号伝送路。